



日本平夢テラス

静岡県静岡市清水区草薙
 開館時間：日～金曜日／9:00～17:00
 土曜日／9:00～21:00
 ※展望回廊は終日入場可
 休館日：毎月第2火曜日および年末



JR東海道線・静岡駅からタクシーで約25分。
 東名高速道路・静岡IC、または清水ICより車で約30分。

【お問い合わせ先】
 日本平夢テラス 054-340-1172
<https://www.nihondaira-yume-terrace.jp/>

contents

01 [世界クラスの美しい“ふじのくに”]
 日本平夢テラス

03 [知事対談]
 多様な存在を
 受け入れる
 「情緒」という感性

～文明世界の袋小路に挑戦する
 日本の「総合」人類学とは～
 東京大学名誉教授
 尾本恵市氏

07 [世界の人々との交流の拡大]
 新時代の地域空港へ飛翔！
 富士山静岡空港の
 新たな運営体制

09 [スポーツの聖地づくり]
 ラグビーワールドカップ2019™
 本番迫る！
 大会の成功とレガシーの創出

11 [県政特集]
 技芸を磨く実学の奨励
 専門的職業人を育てる

13 [ふじのくにブランド]
 川根本町 ゆず

14 [Living My Dream Life in ふじのくに]
 小野剣人さん



日本平夢テラスからの眺望。
 施設を一巡するだけで、富士山、三保松原、伊豆半島、駿河湾、御前崎、南アルプスの風景が鑑賞できる。夜景も美しい。

写真提供：大野剛

建築設計は株式会社隈研吾建築都市設計事務所だ。館内に入るとすぐ、石原和幸氏デザインの庭園が来館者を出迎える。1階にプロジェクトションマッピング等を使った展示エリア、2階に静岡茶を楽しめるカフェ、3階に展望フロアがある。全方位の眺望と日本平の成り立ちを学べる展示は画期的。日本平を知ること、富士山に関する信仰、芸術、文化を知る上でも非常に重要。この施設によって日本平は新しく生まれ変わるかもしれない」と地元の郷土史研究者・渡邊さんは期待を寄せる。



郷土史研究者の渡邊康弘さん。「この施設の完成で、日本平の歴史、文化、魅力がダイレクトに伝わるようになりました」と語る。



世界的庭園デザイナー・石原和幸氏がデザインした庭園。1階窓側のベンチに座り、館内からゆっくり鑑賞できる。

富士山の眺望地として全国的に名高い日本平に、新たな観光スポットが生まれた。昨年11月に開館した展望施設「日本平夢テラス」だ。標高300m地点から眺める景観は、360度の展望を持ち、富士山、伊豆半島、駿河湾、御前崎、南アルプスの大パノラマで見る者を圧倒する。

日本平の歴史は古い。山麓には太古より人々が暮らし、日本武尊にまつわるものなど数多くの神話や伝説が残されている。古代・中世には久能寺に向かう複数の参詣道が集まる地点として特別な場所であったとも言われている。そして大正時代末、徳富蘇峰が「天下の絶景」と呼び、日本平の名を全国に広めた。その後、昭和9年の自動車道開通、同34年の国の名勝指定を経て、観光地として揺るぎないポジションを築いた。

日本平夢テラスは、八角形の展望施設と1周約200mの展望回廊（屋外デッキ）から成る。



施設の内外に県産材が多用されている。全方位に広がる眺望だけではなく、随所に漂う木の優しい香りにも心が安らぐ。

日本平夢テラス
 （静岡市清水区）

★国の名勝、日本夜景遺産

世界クラスの“美しい”ふじのくに“
 富士山の眺望スポットに新時代！